平成22度　玄海町立値賀小学校　学校評価計画

1　学校教育目標
人間尊重の精神を培い、心身ともに健やかで、個性豊かな意欲あふれる児童の育成

総括的な教育目標を、より具体的な児童生徒や教師、学校の「姿」としてイメージする

2　学校経営ビジョン
（目指す学校像）……生き生きと学び合う活気ある学校、やさしさと喜びに満ちた楽しい学校、粘り強く心身を鍛える学校 （目指す教師像）……使命感に徹する教職員、実践的指導力を高める教職員、人間性豊かな教職員 （目指す児童像）……やる気いっぱい学ぶ子、笑顔いっぱいやさしい子、力いっぱいがんばる子

このうち、特に今年度力を入れるものを絞り込む

絞り込むに当たって、特に、前年度、「何ができて、何ができなかったか」を参考にする

3　本年度の重点目標	4　前年度の成果と課題
○家庭との連携を深め、家庭学習の習慣と基本的な生活習慣を定着させ、基礎学力の定着を図る。 ○地域の教育力を学校の教育活動に積極的に取り入れる。 ○校内研究やTT、少人数授業などをとおして指導法を充実し、積極的 に学ぶ意欲を育てる。	○家庭・地域と連携した教育の素地ができたので、学校教育の様々な場面に家庭・地域の人たちが参画できる機会を設け、連携を強化する。

絞り込んだ重点目標の成果や課題を具体的に評価するためには、どのような項目や指標を盛り込むべきかを考える

5　総括表				
領域	評価項目	評価の観点 （具体的評価項目）	具体的目標	具体的方策
学校運営	○学校経営方針	重点目標の周知	・児童、保護者の認知度を80%以上とする。	・全校朝会、育友会総会、役員会、学級懇談会等での説明と学校便り、学級便り、ホームページなど多様な方法で周知を図る。 ・学校教育目標を児童昇降口に掲示する。
	○開かれた学校づくり	家庭・地域との連携	・授業参観の出席率を80%以上にする。 ・ゲストティーチャーなど家庭や地域の学校教育への参画を進める。	・保護者に学校便りや学級だよりを通じて来校を促す。 ・アンケートで学校参画のニーズとシーズを調査し、具体的な計画を作成する。
	○教職員の資質向上	教職員の資質向上	・教職員の服務規律及び指導方法等の資質の向上を目指す。	・あらゆる機会を通じて服務規律の保持を徹底する。 ・校内研究をとおして、実践的指導力を高める。 ・ICTなど新たに必要とされる研修を随時実施し、職員の資質向上を図る。
	○危機管理体制の整備	学校安全体制の確立	・交通事故、火事・地震、不審者侵入時の訓練を行い、各自の役割を遂行できるようにする。	・各種訓練を行うとともに、育友会と協力して安全マップを見直す。
教育活動	●学力の向上	学習習慣の確立	・授業への心構えを持たせる。 ・学び方の基礎を身に付けさせる。	・休み時間に次の時間の準備をする、チャイムの合図で席について待つことを徹底する。 ・発達段階に応じた話し合い、発表の仕方を掲示し、定着を図る。
		家庭教育力の向上	・学年の発達段階に応じて家庭学習に取り組めるようにする。 ・児童の学習内容を理解している保護者を80%にする。	・家庭学習の手引きをもとに、保護者と連携して学年に応じた学習習慣の定着を図る。
	●心の教育	道徳教育の充実 人権意識の高揚	・保護者に学校の道徳教育を理解してもらう。 ・人権朝会、道徳の時間の指導などをとおして、相手の気持ちを考えた言葉遣いや行動をする意識を高める。	・全学級で道徳の授業を保護者参観時に公開する。 ・人権朝会を年4回実施する。
	●健康・体力づくり	「生きる力」を育む食育の推進	・食事のマナーや時間内に食事を終えるなど望ましい給食態度を育成する。 ・朝食摂取率を95%以上にする。	・各学級で複数の職員による給食指導の充実を図る。 ・保護者の給食試食会を2回以上実施する。 ・町教育支援センターと連携した朝食摂取活動を実施する。
	○読書指導	読書指導の充実	・児童一人当たりの年間図書貸し出し冊数を100冊にする。	・読み聞かせや親子読書活動をとおして、読書に親しむ環境を作る。
	○教育課程	年間教科等指導の充実	・授業時間の確保に努め、不足が出ないようにする。 （不足教科0）	・学校行事やそのための準備、練習内容を精選し、授業時間を確保する。 ・毎週、授業時数を確認する。
	○不登校の未然防止	不登校の未然防止	・不登校児童を0とする。	・気になる事例があれば職員で共有する。 ・保護者との連絡を密にし、不登校の兆しに素早く対応する。
	○基本的な生活習慣	早寝・早起き テレビ・ゲームの制限	・登校前1時間前起床 ・テレビ、ゲームは1日2時間以内にする。	・起床時刻、テレビやゲームの時間を調査し、結果を分析して保護者や地域に発信する。
	●小学校低学年の学習環境の改善充実	・基本的な生活習慣・学習習慣の定着	・値賀小の約束を徹底して指導し、時間を守る、話を最後まで聞けるようにする。	・学習支援員、校務支援員を活用し、指導の徹底を図る。 ・学級便りや生活がんばり表を活用し、保護者と連携しながら指導を徹底する。
	○個を大切にする教育	・特別支援教育の充実	・職員研修等を通じて、児童の実態把握に努め、個々の実態に応じたきめ細やかな支援を行う。	・職員研修を実施して、職員の力量を高めるとともに、児童支援委員会で子どもへのかかわり方を職員が共通理解する。 ・学習支援員による個別支援を充実する。